

第6学年2組 学級活動授業計画案

令和5年12月1日(金)第5校時

児童数 32名

指導者 石井 里実

場所 6年2組教室

1 議題「ロクニーきずな会をしよう」～輝くロクニー発表会～

2 活動のねらい

(1)自他のよさを認め合い、よりよい人間関係を形成しようとする態度を育てる。

(2)目標を成し遂げるための方法を考える力を育てる。

3 本実践で育てたい資質・能力

・よさを認め合い、協働して取り組む力 ・目標を成し遂げるための方法を考える力

4 事前の活動

〈11月17日議題選定〉

・クリスマス会をしよう ・おつかれさま会をしよう ・きずな会をしよう

今まで楽しむ会をやってきたけど、もっとちがう会もしたいよね。

前期おつかれさま会をやったときに今までのことをふり返ることができたから、それをもっとみんなで広げたいね。



みんなが頑張ったことを認め合えれば、よりきずなが深まりそうだね。

卒業に向けて最高にきずなが深まるような会にするために、みんなで考えよう！

今回の議題は、計画委員と担任で話し合った結果、「ロクニーきずな会をしよう」に決定。その後学級全体に伝える。



みんなで認め合う時間をつくると、よりロクニーが卒業に向けてきずなが深まりそうだね！

〈提案理由〉

後期前半が終わろうとしています。9月から運動会や修学旅行、縦割り活動など様々な行事がありました。みんなで成功させようと頑張り、思い出に残るものになっています。

しかし、一人一人のがんばりを認め合ったり、たたえ合ったりする機会があまりなく、友達のがんばっていたことがわからなかったり、応援することができなかつたりしたところもあります。そこで、一人一人のがんばりを改めて知り、みんなのよさをもっと実感できるような発表会をすることで、ロクニーのきずながより深まり、卒業に向けてロクニーで頑張ろうという気持ちが高まると思ったので提案しました。

〈活動のイメージ〉

今回の学級活動では、集会活動だけでなく、一人一人のがんばったことやがんばっていることを互いに認め合う発表会を行う。そのために、一人一人のがんばりを見つける時間を設け、友達のよさも自分のよさも感じながら準備をすすめ、クラス全員がロクニーの大切な一人と思える心あたたまるような実践に結びつけていく。一人一人のがんばりをたたえ合った上で、さらに卒業までのロクニーの日々を、よりみんなががんばっていこうという気持ちが高まる活動(発表会+ロクニー足あと劇)ができるようにする。

提案者の思いを受け止め、「輝くロクニー発表会」のイメージを全員で共通理解し、学級会で話し合うべきことについて明確にしていく。

【実践のイメージ】

- 1 はじめの言葉
- 2 輝くロクニー発表会
- 3 ロクニー思い出劇
- 4 感想発表
- 5 おわりの言葉

【決まっていること】

- ・9月から頑張ったことを班で見つける。
- ・ロクニー思い出劇を行う。

5 本時の展開

(1)本時のねらい

一人一人のがんばりを認め合い、よりロクニーの絆を深め、今後の活動への意欲が高まるような計画を
考えることができる。

(2)教師の指導計画

話合いの順序	学習内容	○指導上の留意点 ◎評価
1 始めの言葉 2 計画委員の自己紹介 3 議題の確認 4 提案理由とめあての 確認		<ul style="list-style-type: none"> 大きな挨拶で気持ちよく会をスタートさせる。 計画委員一人一人、めあてがはっきりと言えるようにさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> お互いのがんばりを認め合い、絆を深められるような内容を考えよう。 </div>		
5 決まっていることの 確認 6 話合い ①どのような発表の仕方 にするか (例) ・がんばったことを手紙で紹介 する ・がんばったことを川柳にする ②会を盛り上げる工夫 (例) ・賞状やメダルを渡す ・ステージをつくる ・盛り上がるかけ声 ③役割分担	○認め合う発表会 のために、少数 意見も大切にし ながら、折り合 いをつけること ○自分の意見と友 達の意見を比較 して合意形成を 図ること	<ul style="list-style-type: none"> 全員が提案者の思いや願いを再確認し、話合いの指針となるよう、キーワードを抜き出す。 事前に提示した決まっていることを黒板記録に言うようにさせ学級全員で確かめる。 柱1で出されている意見については、学級会コーナーに貼っておき、朝の学級の時間で共通理解しておき、話合いでは「比べ合う」段階から進めるようにする。 友達の意見を認め、今後も頑張ろうと思う内容を考えるよう促す。 少数意見を大切にし、少数意見であっても発言の機会を与えたり了承を取ったりしてから決定する。 ◎提案理由やめあてを意識しながら、出された意見のよさを生かして合意形成を図ったり決定したりしている。【思考・判断・表現】(発言・観察) 話合いを振り返り、自己評価するとともに、学級や友達のよかった点についても認められるよう助言する。 「認め合う」というめあてを意識した発言や集団決定できたことへの称賛、前回からの成長点についての称賛、今後の課題、計画委員へのねぎらい、今後の見通しや実践に向けての意欲付けなどについて簡潔に述べる。
7 決まったことの発表 8 話合いの振り返り 9 先生の話 10 終わりの言葉		

6 事後の指導

4日	5日	6日	7日	8日
役割分担	準備			▶
11日	12日			
▶	きずな会当日			